

プロセス管理フロー チャートプラグイン

v1.1.1

- 商標について

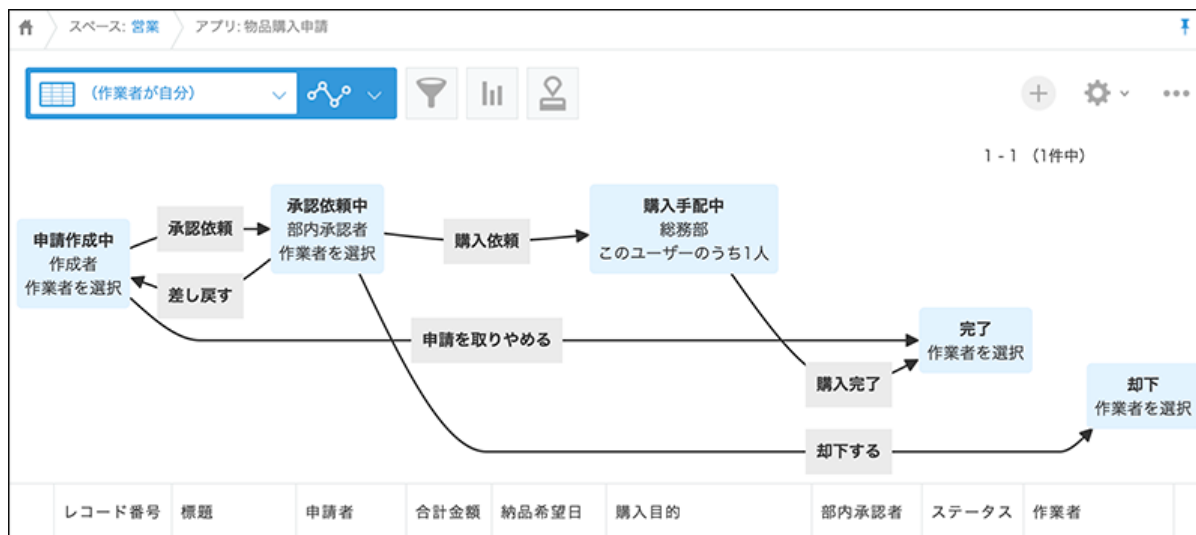
- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
- 個別の商標・著作物に関する注記については、サイボウズのWebサイトを参照してください。
<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>
- なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1 章 プラグインの概要	4
2 章 動作環境	5
3 章 プラグインの設定	6
3.1. プラグインの追加	6
3.1.1. STEP1：プラグインを使用するアプリを準備する	6
3.1.2. STEP2：プラグインをkintoneに読み込む	7
3.1.3. STEP3：プラグインをアプリに追加する	8
3.2. プラグインの項目を設定する	10
3.3. プラグイン設定ファイルの書き出しと読み込み.....	16
4 章 プラグインの使いかた	19
4.1. フローチャートの見かた.....	21
5 章 制限事項	22

1 章 プラグインの概要

「プロセス管理フローチャートプラグイン」は、プロセス管理で設定されているステータスとアクションをフローチャート表示できるプラグインです。



ユーザーは、全体の承認プロセスがどのようなになっているか、また現在のステータスがどこなのかをフローチャートで確認できます。

アプリ管理者は、ユーザーに見せたくないアクションやプロセスを非表示に設定できます。

フローチャートは、「レコードの一覧」画面と「レコードの詳細」画面に表示されます。

「レコードの一覧」画面では、フローチャートのステータスをクリックすることで、ステータスによる絞り込みができます。

「レコードの詳細」画面では、レコードの現在のステータスをフローチャート上でも確認できます。現在のステータスは、他のステータスと別の色で表示されます。

2 章 動作環境

Webブラウザの動作環境はkintoneの動作環境に準じます。

詳細は、次のページを確認してください。

[動作環境](#)

本機能はkintoneワイドコースをご契約いただいているお客様のみ利用可能です。ワイドコース以外では正常に動作しません。

3 章 プラグインの設定

「プロセス管理フローチャートプラグイン」を使い始めるために必要な設定について説明します。

プラグインの追加は、次の手順で行います。

[STEP1：プラグインを使用するアプリを準備する\(6ページ\)](#)

[STEP2：プラグインをkintoneに読み込む\(7ページ\)](#)

[STEP3：プラグインをアプリに追加する\(8ページ\)](#)

プラグインを追加後、必要に応じて、プラグインの項目を設定してください。

[プラグインの項目を設定する\(10ページ\)](#)

3.1. プラグインの追加

プラグインをアプリに追加する手順を説明します。

3.1.1. STEP1：プラグインを使用するアプリを準備する

プラグインを使用するアプリを準備します。

すでにプロセス管理を設定しているアプリがある場合は、この操作は不要です。STEP2へ進んでください。

手順

1. アプリを作成します。アプリの作成方法は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。
[アプリを作成する](#)
2. プロセス管理を有効にして、設定します。プロセス管理の設定方法は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。
[プロセス管理の基本的な使いかた](#)

3.1.2. STEP2：プラグインをkintoneに読み込む

プラグインをkintoneに読み込みます。読み込みには、kintoneシステム管理権限が必要です。

手順

1. kintoneの画面上部の歯車の形をした[設定]アイコンをクリックし、[kintoneシステム管理]を開きます。



2. 「その他」の[プラグイン]をクリックします。

3. 画面左上の[読み込む]をクリックします。
4. [参照]をクリックし、読み込むプラグインのファイルを選択します。
5. [読み込む]をクリックします。

「プラグイン」画面の「読み込んだプラグイン」に「プロセス管理フローチャートプラグイン」が表示されていれば、読み込みは完了です。

読み込んだプラグインをアップデートするときは、新しいバージョンのプラグインのファイルをもう一度読み込んでください。

ヒント

kintoneでは、プラグインごとに利用許可するアプリを設定できます。利用許可の設定をしたい場合は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[プラグインの利用許可を設定する](#)

3.1.3. STEP3：プラグインをアプリに追加する

プラグインをアプリに追加します。

手順

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



2. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
3. [追加する]をクリックします。

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
 [追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
 利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。



拡張機能について知る
 拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
 拡張機能とは [プラグイン・関連サービスを探す](#)

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
プラグインは追加されていません。			

- 「プロセス管理フローチャートプラグイン」にチェックを入れ、画面右下の[追加]をクリックします。
- 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。

アプリにプラグインが追加されました。
 変更を反映するには、[アプリの設定](#)に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

ポータル > スペース: 営業 > アプリ: 物品購入申請 > アプリの設定 > プラグイン

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
 [追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
 利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。



拡張機能について知る
 拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
 拡張機能とは [プラグイン・関連サービスを探す](#)

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	 プロセス管理フローチャートプラグイン		プロセス管理フローチャートプラグインは、プロセス管理の設定をフローチャートとして表示します。

[< アプリの設定に戻る](#)

- 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
 - 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
- これで「プロセス管理フローチャートプラグイン」が利用できるようになりました。
 「レコードの一覧」画面および「レコードの詳細」画面に、フローチャートが表示されます。

3.2. プラグインの項目を設定する

必要に応じて、プラグインの項目を設定します。
設定手順は次のとおりです。

手順

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックし、[設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。



2. プラグイン名の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
3. 「プラグインの設定」画面で必要な項目を設定します。
詳細は、次の項目を参照してください。

[プラグインの設定項目](#)

プラグインの設定

プロセス管理フローチャートプラグイン



バージョン : 1.1.0

非表示にするアクション ?

アクション名	アクション実行前のステータス
-----	すべて

色設定 ?

背景色	#E2F2FE
現在のステータスの背景色	#47A4FF

表示箇所 (レコード詳細画面) ?

メニューの上側の要素

キャンセル

保存

4. 画面右下の[保存]をクリックします。
5. 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。



6. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
7. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
プラグインの設定がアプリに反映されます。

プラグインの設定項目

プラグインの設定画面の各項目について説明します。

非表示にするアクション

フローチャートで非表示にするアクションを設定します。
アクション名と、アクション実行前のステータスを組み合わせて指定します。

- ⊕ アイコンをクリックすると、指定するアクションとをアクション実行前のステータスを増やすことができます。

色設定

フローチャート内のステータスを表すパーツの背景色を設定します。

通常のステータスの背景色と、「レコードの詳細」画面で表示される現在のステータスの背景色を指定できます。

色が表示されているエリアをクリックして、ダイアログを表示します。表示されたダイアログで色を指定します。

表示箇所（「レコードの詳細」画面）

「レコードの詳細」画面で、フローチャートを表示する箇所を設定します。

メニューの上側の要素か、ユーザーが設定したスペースフィールドの要素を指定します。

補足

グループフィールド内での表示はサポートしていません。

指定した箇所にフローチャートを表示する

指定した箇所にフローチャートを表示する手順は、次のとおりです。

手順

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックし、[フォーム]タブを選択します。



2. フローチャートを表示したい場所にスペースフィールドを追加します。

3. スペースフィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。



4. 「要素ID」に任意のIDを入力します。要素IDに入力できるのは、アルファベットで始まる最大64文字です。



スペースの設定

? ヘルプ

要素ID ?

flowchart

キャンセル 保存

5. [保存]をクリックします。
6. [フォームを保存]をクリックします。
7. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
8. 「プロセス管理フローチャートプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
9. 「表示箇所」で、手順4で設定した要素IDを選択します。

非表示にするアクション ?

アクション名	アクション実行前のステータス
-----	すべて

色設定 ?

背景色	#E2F2FE
現在のステータスの背景色	#47A4FF

表示箇所（レコード詳細画面） ?

メニューの上側の要素

✓ メニューの上側の要素

flowchart

10. 画面右下の[保存]をクリックします。
11. 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。

アプリにプラグインが追加されました。
変更を反映するには、**アプリの設定**に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

ポータル > スペース: 営業 > アプリ: 物品購入申請 > アプリの設定 > プラグイン

プラグイン ?ヘルプ

プラグインの追加や設定を行うことができます。
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。

拡張機能について知る
拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
拡張機能とは [プラグイン・関連サービスを探す](#)

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	プロセス管理フローチャートプラグイン	⚙️	プロセス管理フローチャートプラグインは、プロセス管理の設定をフローチャートとして表示します。

< アプリの設定に戻る

12. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
13. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
プラグインの設定がアプリに反映されます。

3.3. プラグイン設定ファイルの書き出しと読み込み

プラグインの設定をJSON形式のファイルに書き出すことができます。また、書き出したJSON形式のファイルを読み込むこともできます。

ファイルを書き出して、プラグインの設定のバックアップとして利用できます。

プラグインの設定を書き出す

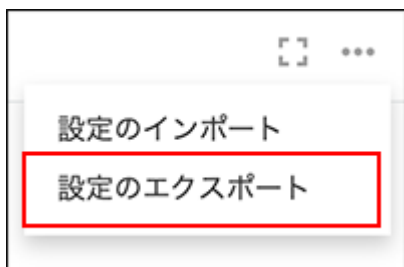
プラグインの設定をファイルに書き出す手順は、次のとおりです。

手順

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



2. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
3. 「プロセス管理フローチャートプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
4. 画面右上の[オプション]アイコンをクリックし、[設定のエクスポート]をクリックします。



プラグインの設定ファイルが書き出されます。

プラグインの設定を読み込む

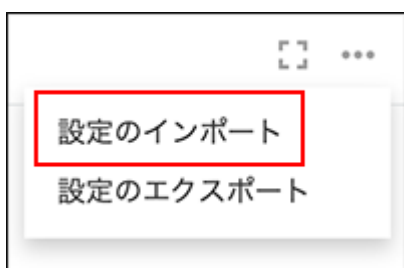
プラグインの設定をファイルに読み込む手順は、次のとおりです。

手順

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



2. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
3. 「プロセス管理フローチャートプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
4. 画面右上の[オプション]アイコンをクリックし、[設定のインポート]をクリックします。



5. [参照]をクリックし、読み込みたいファイルを選択します。
6. [インポート]をクリックします。
読み込んだファイルの内容が、各設定項目に反映されます。

7. [保存]をクリックします。
8. 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。



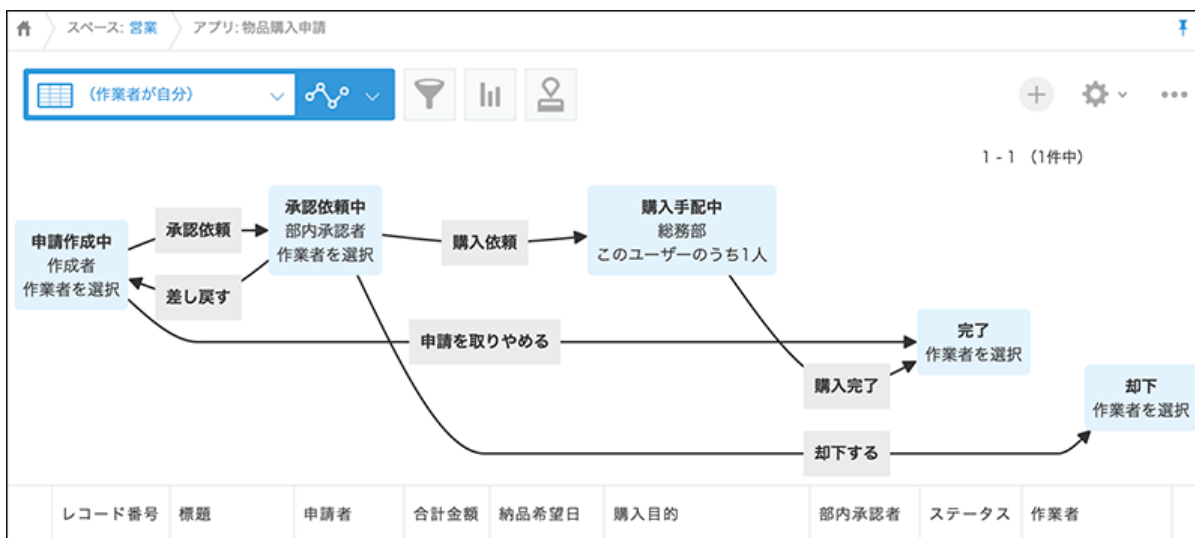
9. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
 10. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
- 読み込んだ設定がアプリに反映されます。

4 章 プラグインの使いかた

「プロセス管理フローチャートプラグイン」の使いかたを説明します。

「レコードの一覧」画面

プロセス管理で設定されているステータスとアクションをフローチャートで確認できます。

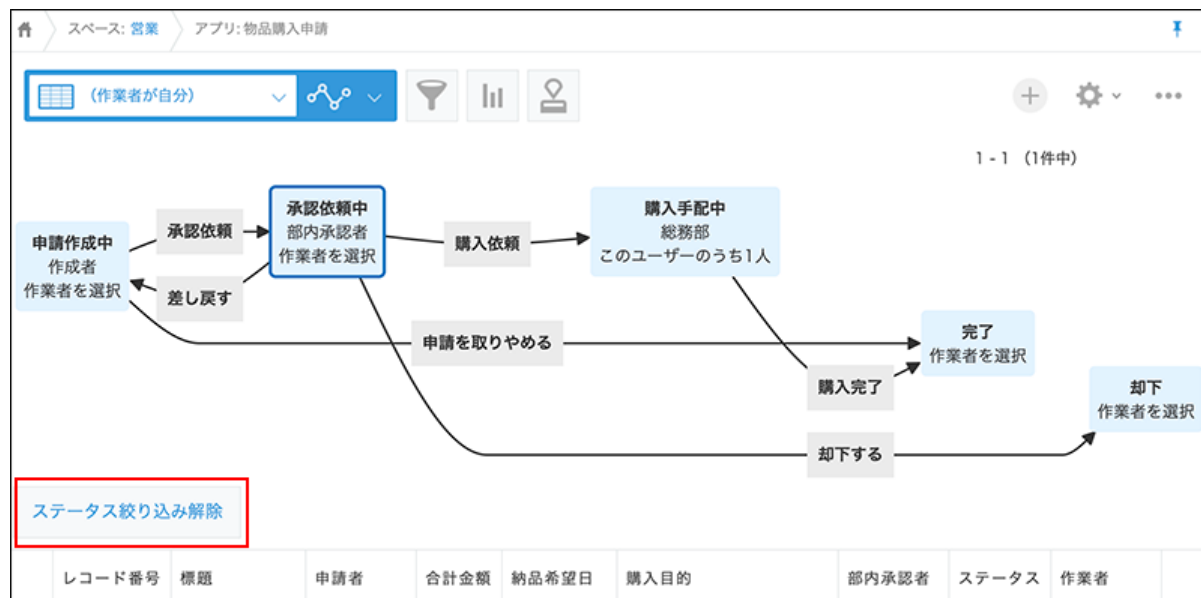


フローチャートを表示する場合は、[フロー図を開く]アイコン  をクリックします。

フローチャートを非表示にする場合は、[フロー図を閉じる]アイコン  をクリックします。

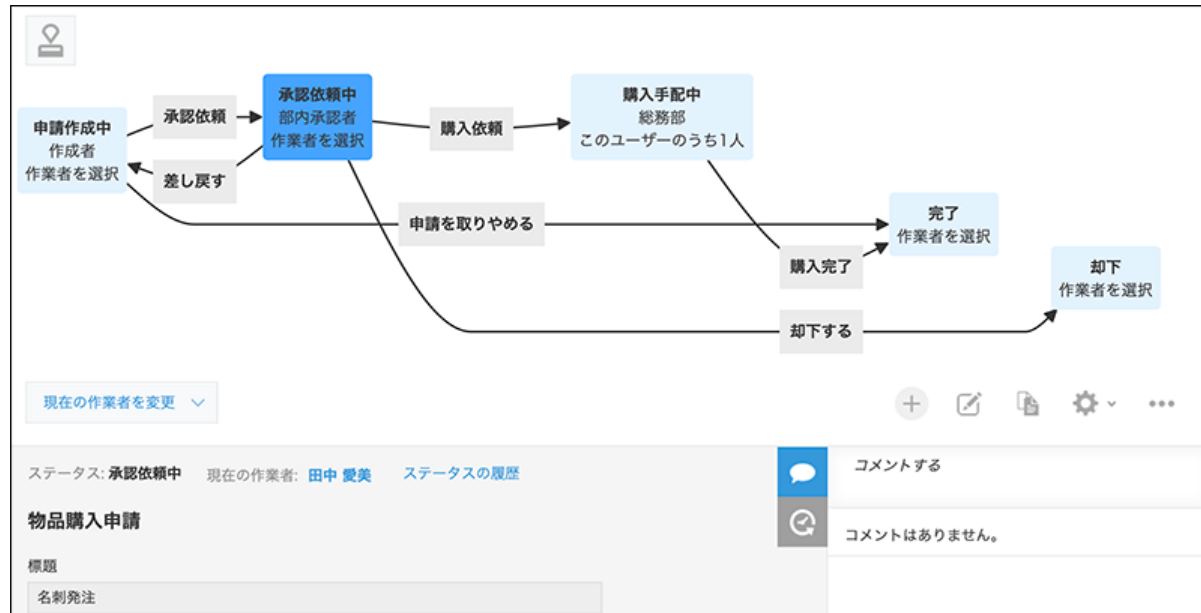
ステータスをクリックすると、クリックしたステータスで絞り込んだ一覧が表示されます。それまで表示していた絞り込みは解除されます。

[ステータス絞り込み解除]をクリックすると、ステータスでの絞り込みが解除されます。



「レコードの詳細」画面

プロセス管理で設定されているステータスとアクションをフローチャートで確認できます。開いているレコードの現在のステータスの背景色が、他のステータスとは別の背景色で表示されます。

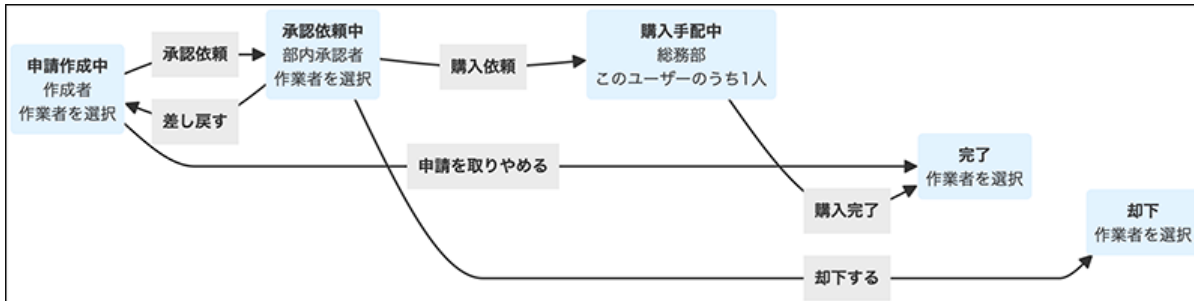


フローチャートを表示する場合は、[フロー図を開く]アイコン をクリックします。

フローチャートを非表示にする場合は、[フロー図を閉じる]アイコン をクリックします。

4.1. フローチャートの見かた

ここでは、フローチャートの見かたを説明します。



ステータス

次の情報が表示されます。

- ステータス名
- 設定されているユーザや組織、グループ、またはフォームのフィールド名
- 作業者の選択方法

プロセス管理の作業者にcybozu.com共通管理のカスタマイズ項目が設定されている場合は、項目コードが表示されます。

アクション

次の情報が表示されます。

- アクション名
- アクションを実行できる条件（設定されている場合）

5 章 制限事項

「プロセス管理フローチャートプラグイン」の制限事項は次のとおりです。

- サポートしている言語は日本語のみです。
- モバイル版では利用できません。
- 組織間のアクセスを禁止しているドメインでの利用は動作保証外です。
- ゲストスペース内アプリでの利用は動作保証外です。

発行日:2025年7月8日
© Cybozu